



■「川崎市エネルギー取り組み方針」学習会報告■



市内の環境系5団体が、市環境局と意見交流しました

9月3日、市内のエネルギー問題に取り組む環境系5団体*が共催し、川崎市環境局 地球環境推進室の職員（担当課長井田さん・伊藤さん）と意見交流する場が持たれ、まずそのことが意味のあることだと思いました。具体的な行動・施策などは今後になることですが、市民・行政が対等な立場で交流し、よりよきものを作り上げていく第1歩になることを予感させる、熱意のこもった発言が相次ぎました。

当日の発言を一部紹介します。

川崎市の方から「このエネルギー取組方針に対し、130 余件のパブコメ意見をもらった。この方針

の策定はゴールではなく、スタート。市としてのスタンスを示したので、これから協働でやれたらいいなあと思っている。今日の勉強会も、その始まりとして、とても嬉しい。」

竹村英明さん（市民電力連絡会会長、かわさき市民共同おひさまプロジェクト）は「電力自由化を進めていく中で、今後、電力内容の内訳も各電力会社から外の別組織に出るので、そこがどう情報公開するかが重要。広域監視機関に対し、きちんと情報公開をしていくように要望を出していくのが重要。みんなで共有する場が必要である。」と発言しました。

参加者からは、産業部門のエネルギー消費が8割もあるので行政の対策が必要ではないかという意見、生活の中で自分たちが出来ることをする必要があるので、という意見なども出ました。

また川崎市の方から「行政としてできる環境問題の解決方法は、3つあると考えている。規制的手法、普及啓発（一人一人の意識を変え、ライフスタイルを変える）、支援（補助金）。それらを総合的にやっていくのが重要だろうと考えている。市民で議論していただくのは良いことと思うし、行政としてやるべきこともある。」との発言がありました。……この後も活発な意見交流が続きました。

川崎市のエネルギー取り組み方針について、市内の環境団体の方々と一緒に意見交換ができ、とても有意義でした。そして、市の方からも率直に意見を言っていただき、今後も継続していこうという話の流れになり、今回の学習会の目的は達成できました。おひさまプロジェクトの竹村さん、飯田さん



からも提案があったとおり、エネルギー問題について、意見交換をしていくネットワークを作ることは大きな意義があると思います。今回の学習会の内容を踏まえ、是非今後とも連携して進めていければと考えています。

※共催団体・個人：かわさき市民共同おひさまプロジェクト、NPO法人かわさきフューチャーネットワーク、ミツバチの会、伊藤清美、NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

政策検討チーム 町井 弘明

■条例についての学習会報告■

～増原直樹先生に学ぶ再エネ条例～

政策検討チームでは、川崎市を原発に依存しない街にするために、再生可能エネルギーを市内に普及させるための条例案を作っています。

私たちの条例案を、ぜひエネルギー条例に詳しい方にも見ていただきたい！と考え、2015年8月27日、総合地球環境学研究所の研究者でもある増原直樹先生をお招きし、条例についての学習会を開催しました。増原先生は全国のエネルギー条例を対象とした研究をしてこられた方で、環境に関する条例の制定に携わった経験もお持ちです。

増原先生は、我が国におけるエネルギー条例の歴史や、エネルギー条例の分類、今後のエネルギー条例の在り方等についてお話をしてくださいました。時代の流れとともにエネルギー条例の内容が変わってきたということや、その変化の具体的な内容をとてもわかりやすく学ぶことが出来ました。



増原直樹先生より、再エネの条例についてお話しを伺いました

また、増原先生からは、私たちの条例案についての指摘やご意見もいただきました。政策検討チームのメンバーだけでは気づけなかった視点からのお話をいただき、大変勉強になりました。さらに、増原先生は、条例案の内容だけでなく、それをどのように現実の条例にしていけばよいかについてもご教示くださいました。今後の活動に大いに生かすことのできるお話でした。

濃密でとてもためになる学習会でした。増原先生、本当にありがとうございました！

政策検討チーム 岩坂 康佑



■ 9/26 「おひさまフェス×星空上映会 in かわさき」 ■

でん太くんが『発電所2号機』を紹介するよ！ 乞うご期待！



この「おひさまフェス」は、主旨に賛同していただいた団体や大勢の方々からご支援をいただいて仲間と共に作り上げてきたお祭りです。ステージ作りにも力を入れてきました。そして、ステージの音響と上映の電源には、8月13日から発電を開始した当 NPO 法人の『発電所2号機』の電気を使います！

市民がつくった電気でお祭り

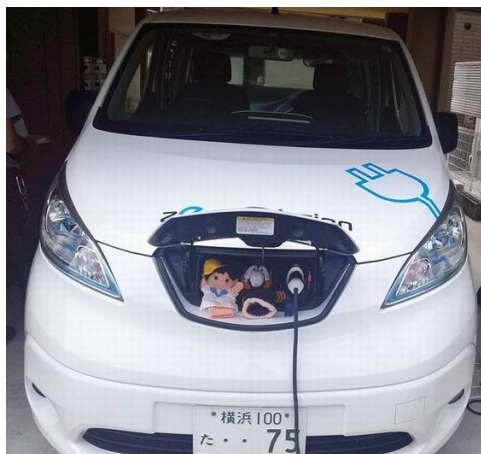


星空上映会の前にセレモニーの時間を設け、17：40～18：00の20分間、当NPO法人の活動をプロモーションビデオで紹介させていただきます。でん太くんが、COCO せせらぎの『発電所2号機』が出来るまでを紹介してくれたあと、実際に電気を車に充電して運んでくるところを見せて、子どもにも分かりやすい物語風になっています。自然エネルギーのことを、もっと身近に感じて欲しいという想いでビデオを作製しました。ぜひ見に来てくださいね！

加藤 伸子（おひさまフェス×星空上映会実行委員）



2号機で充電した車（日産）が、多摩川河川敷のニヶ領せせらぎ館前に到着しました～☆



■自己紹介コーナー■ No.13

今月号は、実行力抜群！イベント企画チームリーダーの田中哲男さんの自己紹介です。



福島生まれの北海道育ち。国鉄分割民営化に反対する国鉄労働組合員の父のもと集会やデモによく連れて行かれて育ちました。当時の政府は国民の共有財産を「合理化」の名のもとにJRに売り払い、地方のローカル線は「儲からないから」と次々に廃線にしていきました。第三セクター化した路線は高額な運賃となり、地方都市の大きな財政負担となっています。大都市部の儲かる路線ばかりを独占するJR株は上場翌日に2倍に跳ね上がります。民営化反対活動の中心にいた父は、当局に睨まれ人材活用センター（労働者に嫌がらせをする場所）に入ることになりました。国鉄労働者は200人以上が自殺に追い込まれています。その結果私は嫌々、川崎に引っ越してくることになったのです。この出来事が私の政治観を決定的なものとし、大企業の儲けの為に地方が犠牲になる構図は原発とよく似ています。

今までの原発反対活動は、集会やデモ行進をするという伝統的な方法に終始し、結果として未来に繋がらない感じがありました。そんな時に降って湧いた発電所建設計画は、確実に未来に物として残すことが出来るという魅力につられ、のめり込みました。今となっては二つの発電所を作ったという成果よりも、職種や年齢が違うメンバーが集まって様々な課題に取り組んでいることの方が面白くなっています。

副理事長をさせていただいている私ですが、この活動にかかわるまで、全く市民活動をしていませんでした。3人目出生直後の2013年末、鴨下さん誘われて初めて参加した学習会で、理事長の川岸さんに出会ってしまい、私の平穏な生活が一変しました。工作上、夜勤で家を空ける夜が多いうえに、定期的な会議や、突発的な会議など重なり、妻から「今週は一日も夜いなかった」と指摘されることも。今後も（は）家庭を大切に、みなさんの健康も維持し、持続可能な活動を続けていきたいと思っています。

副理事長 田中 哲男

【編集後記】

今年の春ごろから企画を練ってきた「おひさまフェス×星空上映会」も目前に迫ってきました。経験のないメンバーなのに、昼のステージと夜の上映の2部構成なんて、正直、無謀に思えました。が、何人かの核になる方の尽力と、今まで顔も知らなかった方々の協力を仰ぎつつ、皆さんのフォローシップによって、絆を深めながらワイワイと楽しくやってきましたことに感謝いたします。奔走もあと残り10日。安保法制のほうも気がかり…（加藤伸子）

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

